

資材需要が高水準の中、供給力不足に伴い

安定供給のために適正価格での販売を！！

あすなる会顧問
株式会社 山西 代表取締役社長 西垣 洋一

2017年1～6月の新設住宅着工数は前期比2.1%増と総じて堅調に推移しています。現在の社会・市場環境が続けば、年後半にかけてさらに上振れする可能性も高く、年間98万戸を超えて100万戸に近接するとの予想も出ています。緩やかながらも住宅市場の回復は当面続くのは間違いありません。こうした中、一部のプレカット工場では、前回消費増税時の資材価格高騰、生産・加工・配送体制より生じた問題から受注制限を実施、継続するとの報道もなされています。当社では、亀山プレカット工場において加工機を増設、8月下旬より生産能力の増強を実施し、又弥富プレカット工場でも更なる設備投資を計画、来年2月を目処に加工機を刷新します。これにより生産効率の向上・納期短縮を実現、皆様のご要望にお応えできる“品質第一”の生産体制を構築します。

他方、ここにきて職人不足に加え資材不足の問題が顕在化、堅調な住宅市場に水をさしかねない状況となっています。2011年の東日本大震災後に起こった資材不足は皆様の記憶に新しいところです。この時は適正な価格での販売のご協力もありますが、仕入先様と当社が長年培ってきた信頼関係、有事にも備えた在庫戦略により皆様にはご迷惑をかけることはなかったと自負しています。

今回の資材不足は、震災後と同じような状況となる懸念さえあります。現在の住宅市場の活況は、日本のみならず世界的なものであり、米国では人材難の問題もあって住宅価格が高騰、2008年のリーマンショック前の水準に迫り「家が足りない」状況です。又中国でも木材消費は拡大の一途を続けています。資材需要が高水準にある中、資材供給の一大産地であるカナダBC州で2003年以来と言われる山火事が発生、今後の資材輸出への影響も注視が必要です。

外国為替相場 (USドル直物円相場中心)

2016年						2017年						
7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
103.9	101.3	102.0	103.8	108.2	116.0	114.7	113.1	112.1	110.1	112.2	110.9	112.4

為替に関しても上記の如く、1年前と比べると10円程度円安に振れており、年末に向けての資材価格の上昇圧力となっています。今後の詳しい資材状況は、右の「年末に向けての住宅資材動向・市況」を参考にして頂きたいと思えます。

当社としましては今後懸念される資材不足においても、皆様への安定供給体制の継続に向け全社をあげて万全の体制を敷きます。しかしながら現在の旺盛な資材需要を考えますと資材価格の上昇は避けることはできません。

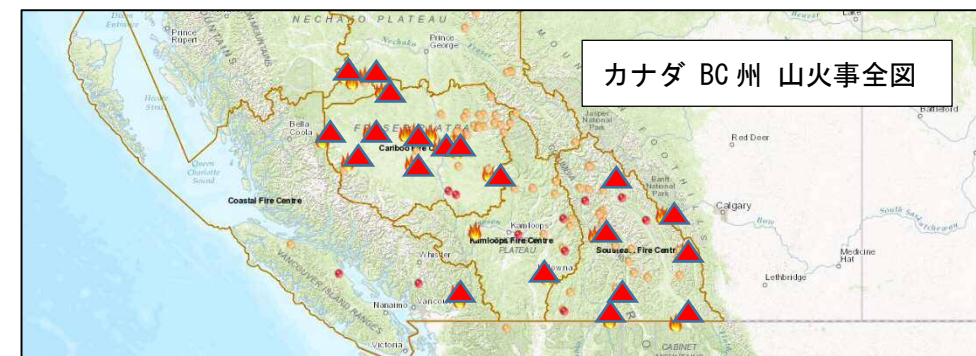
企業が永続するためには適正価格での販売が基本です。2020年の大きな変革期に向け、需要のある今、適正価格での販売により相互が適正な利益をあげ、財務の体質の改善・強化を図ることは必須です。皆様におかれましては現在の状況を御理解頂き、適正な価格でのお見積りに十分注意を払って頂きたいと思えます。今回の資材高騰、資材不足の局面も仕入先様、当社、工務店様の3社が一体となって乗り越えていきたいと思えます。

年末に向けての住宅資材動向・市況

株式会社 山西 購買本部

資材需給・価格高騰の主な影響要因

- ① 国産針葉樹合板 ➡ 針葉樹合板の用途多様化により、昨年同様に針葉樹合板が今年も不足の懸念
 - ・マレーシの伐採税（規制）導入→ ラワン合板の供給の減少
 - フロア台板・塗装合板の供給不安 → 針葉樹合板での代替利用増加
 - 針葉樹構造用合板の不足
- ② 欧州材の輸出国の変化 ➡ RW集成材・WW羽柄材の供給不足！！
 - ・米国向け輸出急増 — 2017年前半で前年比90%アップ。リーマンショック以降低調であったが、米国木材価格高騰を受け急増
 - ・日本向け集成材の原材料であるラミナや完成品の供給が少なく高い
- ③ 米国好景気 ➡ 米松 原木・製品とも価格高騰！！
 - ・住宅価格高騰 — 人手不足などの要因によりリーマンショック前の水準に近づく
 - ・自国での供給力不足により、欧州など他国からの輸入の急上昇
 - ・日本向け米松原木輸出価格が3ヶ月連続の値上げ（値上げ続く予想）
- ④ カナダ・米国山火事 ➡ SPF供給に黄信号（更なる値上りへ）
 - ・BC州史上最悪。焼失面積900,000ha いまだ延焼中（愛知県の面積の1.8倍）



- ⑤ 国産材 ➡ 桧土台に引合い多い
 - ・桧土台 — 米ヒバ入荷減につき桧土台へ引合い集中、価格急上昇
 - ・杉柱角 — 九州等原木産地での豪雨の影響で秋の出材減少、徐々に値上がり始める

資材需要・市況 今後の見通し

上記のように世界的に木材需要が高まるとともに、供給力の限界も見えています。国内においても年末に向け住宅着工数の上振れが予想される中、針葉樹合板・RW集成材・SPF等で供給不安、資材価格の上昇が起こっています。今後、この動きが資材全般に広がるのが懸念され、当社としましては、引き続き安定供給を実現するための資材確保に力を入れて取り組んでおります。得意先様におかれましては、諸般の事情を鑑み御理解、ご協力の程宜しくお願い申し上げます。